

ち　　さん　　ち　　しょう 地産地消だよい

光市立光学校給食センター

H23. 1 発行



みかちゃん

やまぐちけんのうすいさんぶつ
山口県農水産物キャラクター

山口県は全国有数のみかんの産地です。
給食では、山口県産みかんの8割以上を作
っている周防大島町のみかんを使うことが
多いです。みかんは暖かい所に育つ果物な
ので、光市内でも海に近くて暖かい室積や
浅江でたくさん栽培されています。
今回は、室積伊保木の杉田博康さんのみかん
畑に行き、みかんができるまでの様子をレ
ポートしてみました。

☆みかんができるまで

5月 花が咲きます

白い花が咲いて、あたり一面
甘いかおりにつつまれます。
杉田さんの畑では、青島、大津
4号という品種を作っています。



8月 実が育っています

小さな緑色の実がだんだん大
きくなってきます。
実が多すぎると大きく育たな
いので「摘果」といって余分な
実を摘みとる作業をします。
暑い時期なので大変な作業で
す。



12月 収穫

オレンジ色に輝く実が鈴なり
になっています。
杉田さんに畑には80本くら
いのみかんの木があります。
収穫は、ひとつひとつ採果ば
さみで行うので、一週間くら
いかかるそうです。



杉田さんは、室積で
45年以上みかんを
作っておられます。
みかん作りは、水はけ
をよくするための
高畝作りや草刈り、
消毒作業、摘果など
たくさんの仕事があ
るということを教え
てもらいました。



みかんのふくろに
は食物繊維のペ
クチンが多いよ！

かせ予防は
みかんの
ビタミンCで！



つかれをとってくれる
クエン酸もいっぱいだ
よ！！